京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲雜報欄は別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久鶴一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三番 振替口座京城大四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

一家言

國民教育の必要
大隈伯監修青年講習錄を薦む

◎大隈伯爵は其著國民讀本所說の主張を說明せんが爲に、昨年末朝野諸士の助力を得て國民教育講習會を創設し大に國民教育の本旨を發揮され候、而かも伯爵は之に慊らずとして、今回義務教育を終りたる全國數百萬の青年男女を糾合して國民教育講習會を組織し會員の間に青年講習錄を分ち、乃ち智德と體力の强性を高め以て健全なる國民的常識を啓發し確實なる向上的思想を養成せんとす、吾人は伯の國民教育の爲め期成盡力せらるゝを感謝し、併せて帝國の青年は擧つて此講習錄を讀み國民の本分を盡さんことを切に望まざるを得ず。

◎我國の教育は、初等教育に於て殆んど完備し、全國到る所如何なる寒村僻地と雖も咿唔の聲を聞かざるは無く、文字無きの徒は殆んど其跡を絕んとするの好況に向へり、之を最近調査に徵するに學齡兒童一百人中、就學者の全國平均數は九十六人幾分といふ統計に見て明らかなりとす、而して中等教育も亦完全に近く、中學校女學校其他各種の實業學校は全國に亘りて設立せられ殆んど充實せるものと云つて可なり、然るに進んで大學教育如何にと顧れば吾人は遺憾ながら極めて不十分なりと謂はんとす。

◎大學教育不十分なるが爲めに、折角之を受けんとする者あるも、終に其目的を遂ぐる能はず、結果は多數なる高等遊民を見るに畢る、嗚呼之れ國家の不祥事ならずとせんや、高等遊民程何の役にも立たざる者はなし、國家は斯る不生產的の者を作らざる樣に注意を拂はざるべからず、而るに此不生產的の人物を如何にして生產的ならしむるか、是れ實に國家當面の急務とす、於此乎、吾人は國民教育を普及せしむるの必要あるを信ず。

◎國民教育とは、之を狹義に解釋すれば普通教育と見做さるゝも、吾人之を歐米に於て唱へらるゝ「大學教育の延長」なるものに解せんとす、要するに大學教育を單に校內にのみ限らず、廣く社會に及ぼし、社會を教育せんとするにあり、此事歐米には專ら行はれ居るも、未だ我國には行はれざるなり、大隈伯爵の意は蓋し此大學教育の延長に努めんとするにあるや明らかなり、吾人は教育家として職に任ずる人に向つて殊に此點に注意せんことを希望す。

◎今や我國の思想界は頗る混亂せんとしつゝあり、之を整理することは亦急務なりとす、而して之を整理するには一般の國民をして其智識を高め、其識見を堅實ならしむるにあり、之を爲すは國民教育に依らざるべからず、吾人の國民教育の普及を叫ぶ豈理由なしとせんや。

◎現代、我國の教育家の任務の決して輕からざるを思はざるを得ず、今後我帝國をして健全に發展せしむる事、一に教育家の双肩に懸つて存す、一歩を誤れば取り返しの付かざる一大患事を惹起すべし、教育家たるもの深く思を茲に致し、國民教育を鼓吹し以て時代の病弊を拯ふことに努めざるべからず、吾人は我京城教育會の諸士亦之れに鑑みる所あり、大隈伯の擧に對し一臂の力を用ひん事を望む。（赤毛布生）

朝鮮銀行法公布

第七章 政府の監督及補助

第二十八條 政府は朝鮮銀行の業務を監督す

第二十九條 朝鮮銀行は其の定款を變更せんとするときは朝鮮總督の認可を受くべし

第三十條 朝鮮銀行は株主に配當金を分配せんとするときは朝鮮總督の認可を受くべし

第三十一條 朝鮮總督は必要ありと認むるときは銀行券の種類、發行高、貸付割引の金額方法利子若くは歩合、爲替料又は正貨準備若は保證準備に關し制限を付することを得

第三十二條 朝鮮銀行の營業上法令若は定款に違反し又は公益を害する事項ありと認むるときは朝鮮總督は之を制止することを得

第三十三條 朝鮮銀行は朝鮮總督の定むる所により其營業に關する諸般の景況及計算の報告書を差出すべし

第三十四條 朝鮮總督は特に朝鮮銀行監理官を置き朝鮮銀行の業務を監視せしむ

第三十五條 朝鮮銀行監理官は何時にても朝鮮銀行の金庫帳簿及諸般の文書を檢査することを得

朝鮮銀行監理官に於て監視上必要ありと認むるときは何時にても朝鮮銀行に命じ營業上諸般の計算及景況を報告せしむることを得

朝鮮銀行監理官は株主總會其の他諸般の會議に出席して意見を陳述することを得但し議決の數に加はることを得ず

第三十六條 朝鮮銀行の利益配當金にして政府の持株以外の株式に對する毎營業年度に於て一年百分の六の割合に達する迄は持株に配當を爲すことを要す

第三十七條 朝鮮銀行の利益配當金にし政府持株以外の株式に對し毎營業年度に於て一年百分の六の割合に達せざるときは政府は創立初期の末日より五年を限り之に達する金額を補給す

第八章 罰則

第三十八條 朝鮮銀行に於て左の事犯あるときは總裁の職務を行ひ若は代理する理事を百圓以上千圓以下の過料に處す其の事犯にして理事の分擔業務に係るときは理事を過料に處することも亦同じ

一、第十九條第二十條第二十二條第一項又は第二十六條の規定に違反したるとき

二、本法に依り認可を受くべき事項に關し其の認可を受けざるとき

第三十九條 朝鮮銀行の總裁又は總裁の職務を行ひ若は代理する理事第十一條又は第十三條第二項の規定に違反し株主總會を招集せざるときは百圓以上千圓以下の過料に處す

第四十條 朝鮮銀行の總裁又は理事第十條の規定に違反したるときは二十圓以上二百圓以下の過料に處す

第四十一條 前三條の過料に關しては非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條の規定に依る

附 則

第四十二條 本法施行の期日は勅令を以て之を定む

第四十三條 舊韓國隆熙三年法律第二十二號に依る韓國銀行は朝鮮銀行と稱し韓國銀行設立の日に於て本法に依り設立したるものと看做す韓國銀行の爲したる行爲は朝鮮銀行の爲したるものと看做す

韓國銀行に付爲したる登記は朝鮮銀行に付爲したる登記と看做し登記簿に於ける銀行の名稱は當然變更せられたるものとす

第四十四條 韓國銀行の總裁理事及監事は朝鮮銀行の總裁理事及監事として就職したるものと看做す

第四十五條 韓國銀行の發行したる韓國銀行券及其發行を看做したる株式會社第一銀行の銀行券は朝鮮銀行に於て發行したるものと看做す（完）

●棉花栽培近況

棉花栽培株式會社の株式申込額は此程に至り倍數以上に達したるを以て去る二十七日常務委員會に於て一先づ打切りとし創立總會を開くべき順序に就き協議したるが從來の申込者は發起人の紹介にて豫約的に申込みたるもの多數を占め居り事業の性質上よりするも其範圍狹少に失するの嫌あるを以て更に公衆募集をなすこととなりたるが該募集も附熱氣的に之をなさずして棉花栽培と關係ある紡績株百株以上の所有者三千名に對し本月一日勸誘狀を發したる由尙ほ創立總會は多分六月五日頃開會せらるべしと

●朝鮮海出漁

長崎縣長崎縣西彼杵郡樺島村より鯖巾着網同縛網各一組、瀬戸村より鯖巾着網一種、小鯖縛切網一組、三重村より鯖巾着網一組何れも檢査終了の上三十日までに掛けて朝鮮海に出漁し、式見よりの鰯流網一組、小ケ倉よりの同巾着網二組に香港よりの鰯縛網一組は何れも本日出漁の筈

◎新刊紹介

△東洋時報（第百五十號）本誌中注目すべき記事は服部文學博士の「歷史上より觀たる官官」ウーゼース、ジョン氏「佛國殖民地經濟上の將來」等にして其他談話翻譯抄錄雜纂等各欄東洋研究の資料たるべきもの多し（一册五十錢東京市麴町內山下町東洋協會）

△實業之世界（四月一日號）三宅雄次郎氏の「善く蓄へ善く散せよ」鈴木大眠氏の「獨逸勃興の原因」を始め青年立志の教訓となる記事を以て充さる（一册十一錢東京芝愛宕町實業之世界社）

△繪葉書世界（第二年三月號）幕れ新書匠いなる繪葉書を添へ記事に幸田露伴氏の「繪葉書帖」佐々木信綱氏の「座右の繪葉書帖」等趣味ある讀物多し（一册十錢東京神田區柳原河岸永井三星堂）

△政友（第百三十七號）佐久間生の「米國の政黨」目選擧運動費」を叙す其他に黨報告等なり（一册十五錢東京芝公園立憲政友會報局）

△滿韓之實業（第六十四號）滿韓に關する實業經濟記事を以て充され殊に調査資料の如きは朝鮮を知らんとする者の必讀すべきもの也（一部二十五錢釜山港滿韓實業協會）

△道（四月號）本誌は日本教會の機關にして心靈的現象の秘義を闡き東西兩洋の文明若くは思想の融和を圖り敬誠を鼓吹するを以て目的とす卷頭老子天地篇の文句を掲げしに徵しても本誌の抱負を窺ふに足る（一册十二錢東京府下荏原郡入新井村天心社）



召使お初
第四十二回
黑法師

「さ、聞かう」と鶴右衛門は氣味惡げに、成るべく遠くより聲掛けぬ

「什麼をお秘し申さう、拙者姓名は正木佐十郎、當家御厄介に相成り居れるお道の兄でござるわ」と額に浮潤む汗を拭ひぬ

「や、その許……」と餘りの事に續く詞も無く、沈と佐十郎の顏を見込む

「天地神明も照覽、僞言は申さぬ」

「うれならば……それは何故表より執次は賴まいで、斷りも無い內庭へ潜び入つた、ろ、辯解、意を申せ」

「御不案は御有理、これには深い仔細あつて、急のお道に對面の要の出來、お執次を賴む術餘もなく、無斷のまゝ立ち入つた、不調法……

しれ詫する通りでござる、斯樣に耻辱を忍び、素姓申し上ぐる上、早や御疑念も晴れたでござらう、此まゝ見逃し下されば、大恩は忘却せぬ」

鶴右衛門の胸に恐しき心さつと閃く、此浪人果して彼の云ふが如くお道の兄ならましかば、この事件を利用してお道の硬き決心を碎き得れん、女の道、世間の道を云ひ立てゝ、切なる戀を餘所に見る彼女の心を柔げ、我思ひに從はするは、佐十郎を死地に落して、我手の中に救ひ上げるにあり、佐十郎の運命は今全く我手にあり、彼を殺すも自由、彼を生すも自由、斯り

歟、と鶴右衛門は不覺に勇み立ち、然も事を成すには、お道の前に佐十郎を引き伴れねばなるまじと

「きつとぢや喃、お道の兄といふに、微塵僞りは無いぢやのう」

「僞りは申さぬ、大與實ぢや」

「さらばこれへ來、お道目の前へ伴れへ行く」

「お疑ひ解けずとあらば、お道に對面致すのに仔細ない、なれど家の衆一同に耻かしい、顏を晒らすは、拙者一人の不面目で無うて、お道將來出世の妨げともなる、何れにてもあれ、他人の見ぬ間に、突き合せ下さるまいか」

なく他人の庭內に潜び入りたるからは、盗人と負はせて、町會所に引き渡すも可、奉行所へ召し伴れるも可、恐し盗人の穢名着ては、武士の一分立つ瀬もなく、一代埋れ木となりて果てん、うゝ、天晴、內分にして、このまゝに放ち遣る代り、お道を妻にと所望せば、我望み必ず成らん、現在兄の生死に關はる事、お道とて心強くは云ふまじ、祖先の耻辱になる事、佐十郎も理を解き、お道を我に從はすべく口を添へん、天道は正直、命まで打ち込みて戀する心を憐れみ思ぼし、二ツ無き此好機會を與へたまひし

「有理の願ひ、さらばお道をこの裏庭へ伴れて參らう、何れへも行くまいぞ」

「無腰で人前へは出られぬ、安堵めされ」

「よし、さらば暫時待たせ」

鶴右衛門は云ひ捨てゝ庭傳ひ、座敷へ歸りぬ、されど四邊にお道の姿は見えざりき

「お道、お道」と喚ばう、お道は何國に任るかのう」

奥の間の屋尾に心を奪ぬらしく、流行犬樂には呼ばず、彼方此方を見て鬩かぬ





東京電報（五日）

▲日英條約調印　日英新條約は愈々三日調印済となり五日發表に決す

▲日米條約發表　既電日米新條約は四日午後二時正文の批准交換を終了し午後四時發表されたり

▲檢閲使の參内　特命檢閲使伏見大將宮殿下及び長谷川河村兩大將は本日參内　天皇陛下に拜謁仰付けられ大命を拜したり

▲臨時樞密院會議　五日臨時樞密院會議を開き日英新條約に關し小村外相より報告ある筈なり

▲日米新條約成文　四日午後五時發表の日米新條約十八ヶ條より成れり

▲軍事參議官會議　四日宮中に於て軍事參議官會議を開き騎兵操典に關し御諮詢あり未決の儘散會したり

▲各國防疫會議　奉天に於ける各國防疫會議は三日より開催され清國は十箇條の議案を提出したり

雜報

●山縣總監消息　山縣政務總監の一行は四日午前一時半鎭南浦發水路午後一時平壤着乙密臺を觀察し七星館に於ける歡迎會に臨み午後六時例發に投宿五日平壤煉炭所を觀察し午後二時五十分平壤發列車に搭乘午後十時十分南大門驛着歸京すべしと

●間島裁判發表　間島に於ける領事裁判權は治外法權を有するを以て直ちに決定し又は長崎控訴院をして管掌せしむべき筈なるも朝鮮に接壤の關係上種々の事情あるを以て今回帝國議會の協贊を經法律第五十一號を以て間島に駐在する帝國領事官の豫審をなしたる死刑無期又は短期一年以上の懲役若くは禁錮に當る罪の公判は朝鮮總督府の裁判所にて管轄することゝし其他之に關する條項は三月二十九日付を以て發表されたり

●司法事務共助法發布　內地及樺太、朝鮮、臺灣、關東州又は帝國の領事裁判權を行ふ地域に於て訴訟書類の送達、證據調、令狀の發布及執行犯罪の捜査等司法事務の共助に關する法律第五十二號は三月廿九日付を以て發布されたり

●朝鮮軍人令公布　朝鮮軍人に關する件の勅令は去月三十一日の官報を以て公布されたり其要項如左

▲資格　朝鮮軍人は左記の陸軍々人に相當するものとし其中現職にあり朝鮮歩兵隊騎兵隊に屬せざるものは朝鮮駐剳軍司令部附又は同憲兵隊司令部附とす

陸軍副將は陸軍中將△同參將は同少將△同正領は同步兵大佐△同步兵副領は同步兵中佐△同步兵參領は步兵少佐△同步兵正尉は同步兵大尉△同步兵副尉は同步兵中尉△同步兵參尉は同步兵少尉△以下騎兵工兵の科皆同（以下略之）

▲席次　朝鮮軍人は陸軍々人の次席とす

▲制服と徽章　朝鮮軍人には陸軍々人の制服を着用せしむ但し各兵科將校准士官下士卒に相當するものは金色其他は銀色の金屬徽章を襟の左右に附す

▲俸給々料　朝鮮軍人にして現役に在る者には定むる給與令に依り俸給々料を給す但し休職中は其二分の一、停職中は其四分の一を給す（支給額及び停止に付ては陸軍給與令を準用す）

●扇海丸の回航　警備艦の母船扇海丸は一兩日中仁川拔錨鴨綠江に向け航

に就ては去月二十八日京城總督府營繕課に於て之を公入札に附したるが其結

塲廉は二千坪の地域內に建築せらるゝ砦にて專賣局にては非常に建築を急ぎ

鹽と紅蔘と燒酎

上林專賣局長談

▲鹽・專賣局　專賣局官制中に鹽の製造販賣と稱する規定ある爲め世間往々鹽は總督府の專賣かの如く思量するものあり併し道は甚だ迷惑の事なり元來製鹽及其販賣を專賣局の管掌に屬せしめたるは便宜上斯く定めたるに外ならず則ち內地の專賣制度とは大に意味を異にし唯だ製鹽を官營し居るのみなり而して現在經營中の鹽田は朱安と廣梁灣とにして其製鹽豫定斤量は朱安は一百町歩一千萬斤廣梁灣は千町歩一億一千萬斤なり廣梁灣に就ては種々批難攻擊の聲を聞くも現に工事中に屬する場合漫りに其前途を臆測して敗否を云爲するは蓋し早計の誹を免かれざるべし朱安は昨年の成績によれば七百餘萬斤の產額を示したるを以て豫定の一千萬斤に達する事に遠からざらんとす現に角半島の需要鹽量は約三億斤と推定せらるゝ故に廣朱兩鹽田の計劃完成し豫定の斤量を供給するに到るも尙ほ大に需要の餘地あるや明かなり然るに其不足を內地臺灣又は關東洲に之を仰がんと欲するも其價格甚だ不廉にして到底朝鮮の民度に適せず此必要に寄み總督府の鹽業は計劃されつゝあるなり豈に營利を目的とする內地專賣鹽を以て律す可けんや

▲紅蔘の將來　思ふに專賣制度を半島に施行せんと欲するも彼の關稅十箇年据置の宣言あるを以て遂に不可能たり若し強いて之を施行せんか政府の買上を目的として輸入するもの續々現出し專賣制度の根底を危からしむべし然るに獨り紅蔘のみは專賣上毫も其憂なきなり則ち商品は朝鮮の特有產物にして他に抗敵するものなく又其販路は淸國のみに限られ敵の紹々たる專賣品の如き自國民の嗜好を痛むる間接稅の縱ひなかるべく換言すれば他國の金を沒取して自國を肥やす理想的の好產物なるを以てなり現在の產額は約三千斤內外に過ぎず然れども種々獎勵の途を講じたる結果本年は大に作付反別の增加を示めし**往時の盛況**を**再現**するも亦遠からざるべし而して**明治四十八年**に到らば紅蔘專賣に依る**純益**實に**二百萬圓**を算すべき見込なり若夫れ淸國に於ける紅蔘の需要額は幾千に達すべきやと言ふに約六万斤が最高限ならんと推定せらるゝ故に總督府の計劃は四万斤を標準とし以て需給の權衡と價格の維持を計らんと欲す

▲燒酎の官營　燒酎は朝鮮人必需の飲料にして其消費額亦頗る巨額に達すべし之を內地に顧みるに一人平均一斗が通例と稱せらる思ふに朝鮮人は內地人の倍量を飲用するを以て一人二斗と假定せんに一千二百萬の人口を以てせば二百四十萬石を飲用する譯なり其內藥酒及濁酒を半額とし他の半額を燒酎と假定せば實に百二十萬石の巨額を算すべし而して其價格は一石約二十圓なるを以て總額二千四百萬圓となる豈に驚く可からずや然るに彼等の製法を見るに不潔の銅器によりて釀造せられ容器の酸毒異樣の臭氣を放ち又フーゼル油分甚だ多量にして衛生上實に恐るべきものあり若し之を官營とせば是等の弊害を除却し得べきのみならず其價格に於てヨリ一層の低廉を期し得べし故に營利を目的とせざる程度に於いて燒酎の官營を計るは衛生上特に喫緊の事項なりと認む更に鴨綠江方面に於ける彼の密輸入を防ぐの必要より論ずるも燒酎の官營は正さに適切の事業たらずんばあらず然るに未だ一人の之を唱道するものなきは寧ろ怪訝に堪へず云々

●鑛床調査着手順　朝鮮全道の鑛床調査は隨分大事業なるを以て本年度第一着手として先づ鑛物の豐富なる平安北道咸鏡南道を調査し引續き平南咸興に及び更に黃海道を調査するの方針にて多分本年中旬頃程着手の運に至るべしとの事なり

●商工業調査進捗　農商工部に於て昨年より着手したる全國商工調査は釜山及元山方面のもの既に終了し近々其第一輯として發刊するに至るべく尙京城を中心としたる京畿道の分は數月前より着手したる由にて本年度の事業として更に平安南北道の調査に從事する豫定なりといふ

●小學教員養成所定員　既報總督府中學校內に今回設立せられし小學教員養成所に入學せしむる生徒定員は四十名にして生徒には學資金を支給し中學校卒業したるもの又は同等以上の學力あり年齡十七歲以上の者を採る筈なりと

●三南鐵道最近工事　三南鐵道工事に就ては本紙上屢々其消息を漏せしが更に最近に於ける工事狀況を報ぜば三南線延長百七十哩の中大田建設事務所の管掌は左の如し

第一工區　大田黑石間約十二哩
第二工區　黑石里連山間約十二哩
第三工區　連山江景間約十三哩
第四工區　江景群山分岐點間約十二哩
第五工區　群山支線約十二哩
第六第七工區　八岐點四巨里間約四十一哩　其間隧道工事あり

右最近の工程を示せば建築列車は大田黑石里間十三哩三十鎖を運轉し居り一時材料運搬困難の爲工事の進行に幾分の遲滯を免れざりし第三第四工區中佳水院の架橋工事並に大田より十五哩附近にある硬岩堀鑿工事も本月中には全部竣工すべければ四月中には豆溪まで十六哩間の建築列車の運轉を見る可く豆溪より連山間は菱川組の手により工事中の處此工程は七月末完成の豫定なりしに工事意外に進捗し今日はたゞ軌道の敷設のみとなり居るを以て豫定より一箇月早く六月中には連山迄二十四哩五十鎖間建築列車を運轉することゝなるべし尙連山江景間十三哩は已に志岐組の手にて工事中なれば大田より江景迄三十七哩五十鎖は遲くも本年內に全部開通する事なるべし而して木浦建設事務所管掌の分は木浦四巨里間約六十七哩にして分工區は未だ明瞭ならずも同建設事務所青木技師以下二十餘名より成る測量班は日々實測に從事しをり近々起工式舉行する筈にて材料倉庫等の建築を急ぎをれりと因に三南線中最長の隧道は井邑長城兩郡の間にあるものにして延長實に六百間に上り目今大田建設事務所より技師以下四十餘名より成る測量班同所に出張實測をなしをれり

●京釜間長距離電話　總督府通信局にては京釜間長距離電話架設の計劃を立て四十五年度豫算に計上すべく近々實地踏査に着手する筈なり而して右架設に要する經費は概算三十四五萬圓を要すべしと

●通話停止に就て　京城商業會議所が最近電話の通話停止稍々嚴に失するの嫌あるを指摘し當局者の反省を促がしたるは既報の如くなるが當局者も之を諒とし今後は一應督促狀を發したる上[illegible]る場合に限りて停止す可しと云ふ

▲相塲電報（五日）

[illegible]

▲京城　電報所　大阪　同　五九、五〇　五九、七〇　出來不申　六〇、〇〇　六〇、七〇　出來不申

▲大阪　株式　同新　同　一二五、二〇　一二五、八〇　一二六、一〇〇　一二六、六〇　一二六、六〇　一二七、八〇〇

寄十六圓▲八十二錢　寄七十錢▲止六十[illegible]錢▲止五十三錢▲五月　六月寄八十九[illegible]

最高無▲最高七十五　九十九錢▲最高同上▲最低九十七錢▲五月寄一、圓

●京城民會終了　京城民會は過日來豫算案審議中なりしが四日午後六時半歲入出全部を議了し閉會せり大體は委員會查定案通り可決し則ち確定歲出總計は三十二萬六千九百七十六圓にして歲入も相同じ是れを理事者の提案に比すれば實に千四百十二圓を增加せしが這は戶別稅、營業稅の等級變更の結果に基くものなりと尙は民團理事者よりは三四日中に其筋に向け右確定豫算の認可申請をなす筈なり

▲人さまざま▼（十二）

明石桐一君

日韓印刷株式會社の取締役兼支配人明石桐一君は同社長藤田謙一君の實弟である、警察官として十年餘りを臺灣に送つた丈で今も時々た土產のマラリヤに惱まされて居る、其の禁酒を宣言したのも又夫れに五六盃乃至七八盃の例外を置いたのも此の宿痾のある爲めだ相である、敢て大酒と云ふのではないが機嫌上戶の梯子酒と云ふ方だ、君が朝鮮へ渡つた目的は實業界の人たらんが爲めではなくして官界の人たるべくしてであつたのだが令兄謙一君の切なる慫慂に初志を翻して其の事業を助けることゝなつたのだ、奇才縱横の概は君に見るべからず、君の生命は誠實と熱心とにある、風土病に適せざるの故を以て職を辭し、臺灣を去るに際し其の同僚及部下より贈られたる金盃は煥として君が其の職に忠實なりしを證して居る、宣言したる禁酒丈が完全に實行されて居るか何うかは聊か保證に苦しまざるを得ない。

●商業會議所役員會　京城商業會議所にては五日午後六時より役員會を開き四十四年度の豫算編成に關して打合をなすといふ因に會議所の課金率は民團の營業稅率を標準とするため民團の課稅率決定を待つて豫算を編成すると云ふ

●農林學校卒業式　總督府立農林學校にては來る十日午前十時より同校に於て卒業式を舉行す

●善隣學校卒業式　當地善隣商業學校卒業式は來る十日午後二時より舉行の筈

●度量衡法實施勵行　度量衡法は從來京城、仁川、平壤、開城等商業上の緊要なる都會及附近其他鮮地方に實施され居たるも其他の地方には十分に行渡り居らざりしを以て當局にては課田囑託をして數月前より京畿黃海の兩道に出張せしめ親しく講話せしめつゝありしが愈々本月一日より該法を京畿黃海の兩道に普ねく實施することゝなりたり尙本年度の事業として平安南北道を親しく講話せしめ來る八月頃實施の運に至らしむべき豫定にて江原咸鏡南北を終了し全道一般に新度量衡法を用ふるは多分明年中なるべしといふ

●漁業細則の審查　漁業法の改正に伴ふ施行細則は五日より農商工部水產課內にて殖產局長水產局長水產課長及生田、大塚の兩書記官水產技師等臨席して審查中なりと云ふ

●京畿道授產事業　京畿道に於ける恩賜金の授產事業種目に就ては過日の府尹郡守會議にて內定し既に總督府へ稟申したるよしなるが其種目は地方の狀況に應じ相違し居れど聞く所によれば養蠶、製鹽等は重もなる事業にして右施設準備に付き昨今それぞれ進行中なる由にて實地事業開始は來五月初旬頃ならんといふ

●豆滿江の渡船　豆滿江は兩岸とも解氷し一週間後は渡船を開始せらるべし

●山東省と芝罘防疫　芝罘に於けるペストは三月二十六日迄の死亡總數千四百四十五名にして昨今病勢大に衰へ日々の新患者平均四五名に過ぎず此の勢を以て推移せば遠からず終息の期に達すべき見込なり威海衛に於ては過般一名のペスト患者發生したること公表せられたるも其の後發生せず又山東內地各地に於ける狀況も甚しき慘狀を呈するに至らずして漸次衰退に傾きつゝあるもの〻如しと青島の如きは商業上の關係及豫防準備の行渡りたる爲め其の警戒を寬にし山東鐵道には自由乘車を許し津浦鐵道も亦た運轉を開始せりと云ふ

●群山港速成運動　群山港にては阪上民長大澤會頭發起者となり客月中同港改築及水道施設の期成同盟會を組織し速成運動開始中なりしが同地民團及會議所議員其他の有志を代表し去三日夜阪上民長高明書記長橋本議員着京目下浦尾旅館に滯在當局官憲を歷訪し居れり

●前間通譯官辭職　先月初旬辭表提出中なりし總督府通譯官前間恭作氏は今回依願本官を免ぜられたり

●松永師團長消息　留守第二師團臨時檢閲中なり　松永第二師團長は豫定の如く去三日仙臺發歸任の途に就きたるが當地着は七日午後八時なりと

●兩部長の歸任　既報の如く經理部及警務部長會議列席の爲め東上中なりし白石總督府經理部長及堀田警務部長は此程歸任したり

●生田貞之氏入京　日本銀行國庫局長生田貞之氏は昨四日入京天眞樓に投宿せり

●學校組合の設立　去月三十一日附を以て忠淸北道南淵郡內貢淵學校組合及京畿道坡州郡七井面汶山學校組合の設立を認可されたり

●東拓冗員陶汰と辯解　東洋拓殖會社に於ける冗員陶汰の說は頃日專ら世間に傳はる所なるが之に就て東拓會社側にては本年より移民事業及金融部の事業擴張等あり事務の增加は免かるべからざれば此際冗員陶汰の餘地なしと辯解しをれりと

●滿洲鼠疫終息　奉天防疫本部よりの通報によれば管內外に於ける新患發生を見ずと

●排邦人傳道師　併合の結果我基督教傳道師が鮮人間の傳道に從事するに到れるは自然の勢にして且つ日鮮人の融和上喜ぶべき新現象なるが其筋にては外人宣教師に遠慮の餘り邦人傳道師の鮮人教化に從事するを好まず寧ろ排斥するの方針を示しつゝありとは奇怪の事といふべし

●平壤民團起債認可　平壤市街幹線道路土木工事は內務部より四萬圓道地方費より一萬五千圓平壤民團より一萬五千圓を出し四十三年度に於て起工の事となり居れるが右に要する民團債一萬五千圓起債のことは三月卅日附を以て其筋より認可し來れり而して右起債は韓國銀行平壤支店に於て引受け利率年七朱二ヶ年据置五ヶ年賦にて償還すべき筈なり

●民長の慰勞宴會　京城民會の豫算案討議も十餘日を經て昨夜終了せしに付き古城民長には閉會後午後七時より議員一同其他を万千閣に招待し慰勞の酒宴を張れり

公人・私人

▲生田定之（日銀國庫局長）四日天眞樓
▲前田榮一（馬山民團長）四日巴城館へ
▲八尋生男（熊本縣農務課長）同不知火
▲菱田義民（忠淸南道內務部長）同公州館

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　四日の分　乘車客　八五五　下車客　一、〇六三

▲南大門驛荷扱高　四日の分　乘車賃金　一、五四八、五三　發送　三七噸　到着　二八〇噸　貨物賃金　一、四〇四、二六

▲龍山驛乘降客　四日の分　乘車客　三一七　下車客　二九五　乘車賃金　二九〇、〇〇圓

▲龍山驛荷扱高　四日の分　發送　一〇二噸　到着　一一五噸　貨物賃金　一一五、二五

▲仁川港の出入船舶▼

▲[illegible]山丸　六日大阪より入港
▲秀吉丸　同
▲山城丸　同
▲第二元山丸　同　門司より入港
▲秀吉丸　同　大阪へ向出港
▲群山丸　同

▲京城手形交換高▼

四月	金高	枚數
五日	一七五、九〇四、五五〇	七九一

▲治外法權▼

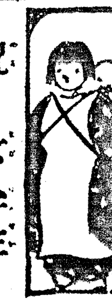
在京城新聞記者間中の有志者に因つて寒秋會が組織された、寒秋會の組織、其は時世の必要が然らしめたものだ、同會が其目的を達するがために如何なる働きを爲すかは今後に徵すべしだ▲孔子春秋を作り、賴襄日本外史を作り、義公大日本史を作り、其筆端を以て天下に號令した、筆が劍に優ることは昔からの事だ▲京城の寒秋會、其誕生はヤット數日前だ、微力侮るに足しと思ふ者があれば其者の勝手だ、併し寒秋會には寒秋會としての信條があるのだ、此信條こそ同會の生命で、此生命こそ軈て發しては半島開發の資となるのである▲近頃我京城民會が、皇祖太神宮の社殿造營問題に關し熱心努力するのは至極結構の事だ、殊に過日國庫補助申請建議案を滿場一致で可決したのは記者の意を得たるものだ、願ふは我民團理事者は右建議案可決の趣意に基いて、至急總督府に交涉を開くべしだ▲此頃はドウ云ふ風の吹廻しか、外人殊に米人宣教師に對する其筋の態度が甚弱になつた、其實例は某日本人基督教傳道師が鮮人に向つて傳道を始めた、而るに其筋では該傳道師の所屬を以て米人宣教師の感情を害するものと誤解し、百方該傳道師に說いて傳道事業を中止せんことを求めた、併し該傳道師は其筋とは所見を異にし、今に東大門外に於て傳道を續けて居る▲一邦人傳道師の働き、其が鮮人の教化に幾許の效果を齎すべきやは記者の知らざるところだ併し傳道の自由は外人宣教師の享有するが如く邦人宣教師にも享有せしむべきものだ、而るを其筋が彼是れ干涉するのは總督政治內剛、外柔の弊だ▲淑明女學校が第二回卒業證書授與式を舉行するに到つたのは淵澤學監の勉強であるのだ、學監、一老嬬を以てして上流鮮婦人を內房の囚れより救はんとす其心掛の雄活なる賞するに餘りありだ

菜根譚（抄出）一

棲守道德者、寂寞一時、依阿權勢者、凄凉萬古、達人觀物外之物、思身後之身、寧受一時之寂寞、毋取萬古之凄凉。

大に一[illegible]得すべしと

●廣梁灣鹽倉庫落札　專賣局の廣梁灣鹽田倉庫建設工事[illegible]三万六千圓にて[illegible]鈴木氏に落札したれば近々工事に着手すべく目下右に對する準備中なり因に準備を爲し今後約八十日間内に於て竣工せしむ豫定なりと



呪はれし女の半生

▽墮落の動機(四)

「別れて了ふのは嬉しいけれど夫婦に成るのは嫌だ」と云ふ世の中に此れ程判らぬことがあらうか、併し今はフン左樣かとでは濟まされぬ色戀の其の道はしさは別としても、如何な間でも隱るにやならぬ身の淫奔を人承らふに兩親に打ち開け漸く其の承諾を得た今日だ、何うでも承諾させにやあならない「御新造になるのは嬉しい」と云ふ言葉が眞實ならば、と男は決心した。

「判らない事を言ふぢやあないか、エオイ」泣き伏して居る女の肩に手を掛けて「此の前逢つた時に俺は親父に左樣云つて前を俺の女房にする、となつたら前は嫌とは云ふまいねと聞いた時にれ前は「左樣なつたら嬉しいけど」と云つたとは忘れはしまい」「……」「其の時俺は何んと云つた、屹度左樣して見せるからと誓つたのも覺へて居るだらう」「……」無言の儘に振り仰いだ女の顏には血の氣も無い、緊と噛み締めた唇には血が滲んで「オイ何うしたんだ」と氣遣つた男の顏を凝視めて居たが力もなく男の膝に倒れかゝつた。

男も無言、女も無言、斯くして三十分が程も經つたと思ふと女は歔欷げて又忍び泣くのである「泣いてちや判らん」言つた男の聲は昂つた「モウ泣かない……泣かないから勘忍して……」「何を勘忍しろと云ふのだ、理由を云へ、理由を」「……」女は又も音をたてゝ泣く膝に縋つた女の顏を拂ひ落して男は立つた「判つた貴樣は俺を欺んだな、イヤ俺斗りか親父まで宇都宮クンダリまで引き出して御叮嚀な恥を搔かしたナ併し狐に誑されたんだ對手が獸だ、我慢するア獸奴」男の頰にも涙が傳はる。「勘定は此れで濟ろ」と三つ折の懷中を叩き付けて男の手は障子に掛つた。「話す、話す、話しますから待つて頂戴よう」男の裾に取り着いて涙も聲さえと泣くのであつた。

漸くにして泣き歇んだ秀彌「如何な事があらうとも話すまいと決心した身の恥辱だけど、貴郞やれ父さんまでも欺したと思はれてちやア例令死んでも死に切れません、愧かしいは愧かしいが殘らず話し致します夫れでなくては物心覺へて初めて心を許した貴郞に見棄てられる、話しますとも口惜しい而して愧かしい斯うなるまでの身の上を……其の代りにね兄さん、聞いても愛想を盡かさぬ如にね、今迄の……斯うした交情は絶れるにしても妾と云ふものゝあつたこと丈けは何日までも忘れないで居て下さいよ」

泣かじとすれど湧き出る涙を襦袢の袖に拭ひ拭ひ敎へず「妾しや強姦されましたの……」口に咬へし緋の襦袢、口惜しさに吐く血かと見て「十六の春、伴に紛れた花見戻り上野と王子の間の森で加かも三人の畜生躰の男に……と知つたのは正氣づいた日に新聞で、夫れが元で婿と定まつて居た男とは緣が切れる、切れて口惜しい緣ではないが、口惜しいのは世間の口妾から嗜き好んで爲た淫奔の如にれ噂聲だからだ何んの彼のと陰口斗り、聞けば口惜しい殘念だから死なうとしたのもマア幾度で御座んしたらう」

豪奢を極めし食事

小笠原信雄

齊藤亭の費消額は七十餘圓許りなるも何樣降車の際から仔細ぞあらむと目に着いた男の引續いての遊興に怪しとも怪しと先づ睨んだ同市末廣町の鎌田巡査は早速其趣きを本署に内申するやイザと許り大熊刑事を助勢せしめ三十日夜入時頃藤屋支店へ出張し中を無く取押へ本署に引致してしまつた、彼れは最初左や右云ひ張りしも頓て其筋より指示しありたる朝鮮京城拓殖會社員小笠原信雄(三一)に該當する所から土居警部の嚴重なる取調べにより全く推定の通り和歌山市大工町三十三番地士族小笠原寛の次男信雄に相違なく本年一月十日同社に雇はれ中六千二百二十圓の爲替手形を竊取し直ちに之を現金に引替ねて逃走し行く先々にて豪遊を爲し東京に着てから一切の服裝を整へ夫より長野に舞ひ込みたるものにて所持品として角形の大鞄には一與樣の着物に鹿紗形の下着二枚綿珍の帶郎あり大形の紙幣入革鞄中には韓國紙幣十圓一枚、一圓二枚、五十錢銀貨一個、十錢二錢及び五十錢銀貨を存留し合財袋には長野名物の鑵詰や柿□がき信濃史談、肥伴並其他雜品にて口み括り驚き乍に濟れされ外に化粧品入の革鞄一個もありてブラシや瓶が一杯並べてあつた相だ而して信雄が愛妓咲龍につけたる表面の玉數廿八日二十本(十時間)廿九日四十八本(二十四時間)卅日廿本廿七日は本の僅かなりとぞ斯る遊興中も信雄は屢次物に驚ける如き顏色にて突然大聲を發したり又は暫時呻吟したり或は廊下トンどをしたり入り來る程の客を如何なる人ぞと其都度に尋ね殊に隣室に乘込む客の去るも會社員なるやを聞くや突然羽織を脫ぎ棄て、其座敷の傍らに飛んで行き暫らく佇み居る杯、其態度殆んど狂氣染みる處があつた心中の煩悶は遣るに遣れなかつたものと見ゆる

帝國十圓紙幣二百四十枚　**遊興中**　**玉數**　**咲龍**　**狂氣染み**

濟度機關の集中

▽新町大遊廓の獨占

眼の寄る所に玉ども云ひ類は友を以て集るとも云ふ比喩に漏れぬ京城の濟度機關は揃ひも揃ふて自から市の東南端に集中せるこそ面白けれ花園町に曹洞宗南に日韓禪寺、若草町に臨濟禪寺、本山別院、初音町に臨濟禪寺、ズツト進んで高野山、手前へ戾つての大伽藍は此れこそ新町大遊廓、曹洞本山別院に田中靈園師、臨濟禪寺に圓山太巖師が孰れも一周一回宛無盡燈論や碧巖錄を提唱して作座生かソモソモ釋迦と云ふ蛇、捻りモヂつた理窟をば退ねた經文五千餘卷も詮じ詰むれば廻廊の柏樹子婿り屆つた姿をば直く看よとの事で御座るワと噛んで含める御敎へも緣なき衆生多くして存外繁行せぬに引換へ新町大道場は定めの賽錢抛り込めば直ちに開くる極樂門、彌陀に掛けたる十八願此所に入らん程の者一人たりとも濟度せずんば吾れ決して玉代を取らずの意氣込みにて「チヨイと〳〵」語があるのよれ憂りようヨウならヨウ」と此の法輪の方は頗れにも不景氣不景氣と不景氣の聲を能く聞くが此頃でも絃歌絶へせぬ有樣、濟度されたる亡者の曰く此所のが一番判が良い他の遊廓にして心せずば借者を皆んな取られますよ

●藤宮所長の免訴　元度支部建築所仁川出張所長藤宮惟一及び平壤鑛業所技師請負業滿壽浩に對する公文書僞造詐欺取財被告事件は京城地方裁判所仁川支部森川判事の手に於て取り調べ中なりし被告藤宮が明治四十二年五月二十二日より同年十二月二十五日に至る間同所人夫供給者稻田勝

四ツ手網

◎中券藝妓讀み込都々逸(五)　本町　浪の家

○井門　妻子●●
妻子ある身を承知で主に苦勞するのも心から

○花月　○○た茶羅●●
意氣な若衆が雪駄で通る浮世小路れちやら〳〵と

○捌翠　伊達子●●
なれぬなからも縫ふ伊達ころで主に着せたい實意から

○濟華　一奴●
緣をつないだがただ一筋の糸をたよりの奴だて

○捌翠　二三四●●
あだな女が釣るボンボリのかげによみよむ廓の宵

◎一口噺　化物生

甲「靈仙入源七は頭で梵鐘を撞鳴した」乙「當然ジヤないが尻で餅搗く人も多ひよ」

弟子「雲衞門先生を狙ふ奴があるツーデス御警戒願ひます」警官「其樣な雲摑む樣な事では困るジヤナイカ」

(…)代人被告浩と共謀し實際供給せずして供給せしものゝ如く關係文書を僞造し當該官憲(元韓國)を欺罔し連續して千五百二十八圓二十四錢を騙取したりとの事件は審理の末去る四日證據不充分の故を以て免訴放免せられたり

●仁川の强盗　仁川濱町二丁目九番地ノ一雜貨商片山實藏方へ五日午前一時三十分頃一人の男來り戸を叩き睡眠中の家人を呼起し卷煙草を與れと云ひしより番頭某は何氣なく起床し朝日一個を渡しけるに彼れは十錢銀貨一ケ差出し置き油斷を覗ひ番頭某を組伏せ卽座に繩を以て縛し主人の寢床に迫り突伏せよと云ふより某はこわ〳〵ながら實圖の寢室に案内しければ賊は長サ一尺以下の刄を拔放ち自分は强盜なり命を出せよと脅迫し金三圓五十錢を强奪し逃走したりと云ふ目下其筋に於て嚴重犯人捜査中なるが夜分睡眠中に買物に來る客は油斷のならぬ者なれば各自嚴重肝要なり

●上田外次郎の公判　民間韓興[illegible]　探偵運動當時太平町居住上田外次郎が西部押事務所支部田舍家に於て暴行を働き器物を毀損して其の筋に檢擧されし事件は五日京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長兩陪席判事伊藤檢事の係りにて公判開廷せられたるが被告は犯罪事實を否認し辯護人は伊藤檢事に於ける申立は檢事廷警察廷に於ける申立と相違し事實を否認すと雖も一件記錄に就て人の證言等に因り證據充分なり此の點は微罪なれど其の行爲惜む可き所爲にして殊に韓國警察の妨害の意思ありしものゝ如く嚴罰せらる可く且つ被告は毆打罪等の前科數犯の者にて太平町の上田外次郎と云へば名高き無賴漢にして世人も恐がり檢事局に勿論警察の注意人物なれば嚴重なる處罰の必要ありと云々と論告ありて懲役一年の求刑あり次回開廷日に言渡す可き旨にて閉廷したり

●他人の物を奪ふ　清國山東省生れ當時東大門通り張大利(三四)は三日午後五時頃李與後なる者が永樂町二丁目道路に於て金一圓二十錢入りの巾着を紛失したるを劉姓女が拾得したるを見て自分の者なりと强いて受取りたる事發覺し南部署に引致され取調の上檢事局に送らる

●演藝だより

●歌舞伎座　雲右衞門六日の讀み物は赤穗義士倉橋傳助二席、義烈百傑出世相撲稻川東下り一席

●浪花館　浪花節京山若圓吉川今勝合併一座にして六日の讀み物は日本男兒根の血刀津田三造(吉川孤舟)紙幣贋造の探偵(同鐵舟)和歌の浦譽の太刀風(同鳳舟)落語(笑福亭市圓)豪膽軍人兵營の夢　娘敎育恨の拳銃(吉川今勝)伊達黑白論對決迄續き讀　萬國不二義士の勢討入迄(京山若圓)

●壽座　引續き好況なる立志團六日の藝題は返り咲き藝妓の死刑囚配役は藝妓菊丸(淺井)同時鶴(寶井)本田實(志村)今井進一(藤島)鷲尾檢事正(稻葉)漢學者秋月(郡)橫瀨れせん(東)書生木村(北村)菊池檢事總長(岡部)佐藤敎悔師(花島)伊邦看守長(村山)

▲學民文藝▼

▲貸家　南山町二丁目總督府官邸眺望絕佳實に最も衛生的(京城本町二丁目[illegible])

▲三十一日午後一時頃西小門外和泉町通り通行の韓國家に使役する甘節翁より姉方の飼犬(ホインター)種迷茶白斑點入り[illegible]行方不明と相成[illegible]間若し御心當りの方は御一報下さらば相當謝禮致します　一間所　電話一七三六番に(末松)▲太平町の曾根と云ふ料理屋へ去る二十五日の夜二時頃行つて飲まして呉れと云つたら妹數を着かしとて來て居たからとて決して亭主計りはありませんよ、注意生)●▲嘘言さんは田舍へ行つて朝鮮人から水を貰つたとて大層有難がられたが甘樣のに打つかつかのが仕合せさ(武士道雁)▲末廣の九久さんチト愼まぬと石川さんに叱られますよ(卸ノ女)▲寶永峯水君輪け綺搆ながら時期が後れるので出したいのも出せぬのを悲しむよ(係)▲奇特な人黑木さんの事投書して御覧なさい(係)▲龍山鐵道官舍構内の守衛東郷と云ふのが生意氣だとの投書何が生意氣のか判らんから沒(係)▲來る八日午後二時半から訓練院で日本人野球俱樂部と鐵路青年會館との試合がある相だ好球見に知らせする(俱生)▲北米倉町の甲斐君に聞く君の所の梳子は夜妻非常に勉强だね南川から歸らぬ間に少し休むが宜しいよ(忠告生)

今日の運勢

四月六日　舊三月八日四綠丙午　△一白　盜難橫領及保證引受裏書を避くべし△二黑　總じて旅行移轉凶△三碧　貸借借金談違錯生せん他は平和の日婚談共同組合連盟に吉△四綠　新事旅行婚談起業開店創立に尤も忌む不快の日婚談組合談判起業開店創立に吉△五黃　移轉凶盜難遺失防ぐべし△五黃　訴訟裁判凶賣買取引貸借金談違錯生せんとす近親の事係累あり旅行婚談移轉見合せたるべし△六白　修交協商婚談に吉他の行事手控へ若くは見合せの事△七赤　類み多し起業開店旅行婚談凶共同組合連盟の事破れあらんとす△八白　盜難橫領防くべし旅行婚談起業開店放蕩祝典凶△九紫　證券印章の事故障生せんとす他は快欣の日大凡吉

朝鮮總督府警務總監部屆濟
豫約募集(交詢社式)

朝鮮紳士錄

總クロース金文字入菊版千ページ内外
定價一部金五圓
豫約特價前金一部金參圓
申込締切期日　六月三十日
發刊　七月三十一日

登載事項　政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者
以上の外朝鮮總督府、中央地方各廳、軍司令部、師團司令部、各民團、各商業會議所、各國領事館職員錄及び銀行會社、學會、教會、寺院、協會、俱樂部等の要錄等を併載致候

本社は一昨四十二年を以て第一朝鮮紳士錄發刊の企を爲し幸に江湖各位の御贊同を得て其業を完ふ致し候、爾來年を重ぬること二、其間日韓併合の事あり世は一變に新となり、從つて新舊人物の入替等も多々有之候茲に於てか本社は時世の必要に應ぜんが爲め前版を改訂增補し第二朝鮮紳士錄を發刊することゝ仕候思ふに本紳士錄が半島及び內地に於て信用調査其他交際取引等に汎く便用せらるべきは過去の經驗に徵して明かなるところに有之候仰ぎ願はくは江湖の各位幸に本社の微志を諒とせられ續々豫約御申込相成本社今回の擧を御援助あらんことを茲に謹みて公告仕候

三月

朝鮮京城西小門通り
京城新報社
朝鮮紳士錄出版部
電話六六三番　振替口座京城四五六號

▲神戸富　電鐵引　三二、四〇〇　三二、五〇〇　▲大阪株式(昨日後場)(五月限)(當日前場)　三三、九〇〇　三三、〇〇〇
▲大阪　▲電燈　▲東京　▲株新　一〇三、一〇〇　一〇四、八〇〇　一〇五、八〇〇　一〇四、[illegible]　一〇六、七〇〇
▲大阪期米　●四日前場　四月廿十六圓二錢　五月　廿七十三錢　▲六月廿九十錢　▲四日後場　四月　▲五月寄七十四錢　●仁川米豆取引　四月寄十一圓七十五錢　▲六月寄九十四錢　▲最高二十七錢　▲最低十八錢　▲止同上